

洛西ふれあいの里保養研修センターについて

洛西ふれあいの里保養研修センター（以下「保養研修センター」という。）については、平成 24 年 10 月に学識経験者、高齢者団体、地元自治連合会等で構成する「洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置し、今後のあり方に関する検討を進めてきました。

その後、本市では、検討委員会からの提言及び市民意見募集の結果を踏まえ、「洛西ふれあいの里保養研修センターの今後のあり方に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）を平成 25 年 4 月に策定するとともに、平成 25 年 5 月市会に基本方針を内容とする保養研修センターを廃止するための関係条例案を提案し、市会において御承認をいただきました。

現在、同センター跡地については、基本方針に基づき、公民の適切な役割分担の下、跡地活用を行うため、二段階選抜方式（※）により売却する手続きを行っています。

記

1 基本方針の概要

（1）宿泊・貸館機能

保養研修センターは、開設から約 20 年が経過し、急速な少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化等、取り巻く状況は大きく変化しています。

とりわけ、バリアフリー化の進展や民間による代替施設の増加等により、宿泊・貸館機能の稼働率は低迷し、今後大幅な改善の見通しが立たぬまま、毎年、多額の公費を投入し運営している状況にあります。

さらには、宿泊機能については、京都市民の利用がわずか 3 割程度に止まっている実状にあり、抜本的な見直しが不可欠な状況にあります。

このため、限られた財源をより一層有効に活用する観点から、宿泊・貸館機能については、廃止することとします。

なお、廃止に当たって、利用者の混乱を避けるために、十分な周知期間を設定する必要があることから、廃止時期より 10 カ月ほど早い現段階で、条例案を市会に提案、ご承認をいただいています。

（2）研修機能

介護職員をはじめとする研修ニーズがますます高まる中、今後、一層の研修の充実と併せて、研修受講者が受講しやすい環境づくりの推進が要請されています。

このため、交通アクセスがよく、高齢者福祉に関する研修等で専門的なノウハウを有する京都市長寿すこやかセンターに一体的に統合・拡充することにより、研修環境を整備し、専門職員の資質向上を図ります。

(3) 生きがいづくり機能

教養講座や健康増進事業の生きがいづくり機能については、民間施設の増加等の状況を踏まえ、廃止します。ただし、貸館機能については、今後の地域コミュニティや健康づくりの維持・向上のためにも、大枝・桂坂学区において、代替機能の確保を検討します。

(4) 保養研修センターの土地・建物の活用策の検討

保養研修センターの土地・建物の今後の活用については、時代のニーズ、地域のニーズを十分に踏まえた活用策を検討する必要があります。

このため、公民の適切な役割分担の下、公募により、土地・建物の活用策に関する提案を受け付けることとします。

提案の採択に当たっては、検討委員会を発足させ、提案内容について多角的に検討を進めることとします。

< (※) 二段階選抜方式のあらまし >

■ 第一段階選抜（プロポーザル）

土地活用方法に関する企画提案を事業者から求め、地域住民、学識経験者等が参画する「洛西ふれあいの里保養研修センター跡地活用計画検討委員会」（以下「検討委員会」という。）において、提案内容等に対する意見をいただき、京都市において一定の基準を満たす事業者を選抜します。

■ 第二段階選抜（価格競争）

第一段階選抜を通過した事業者の中で、価格競争を行い、売却先予定事業者を決定します。

(参考1) これまでの経過

平成24年10月31日	第一回検討委員会
平成24年11月29日	第二回検討委員会
平成24年12月27日	第三回検討委員会
平成25年 2月 4日	第四回検討委員会
平成25年 3月 8日	検討委員会からの提言受理
平成25年 3月14日	教育福祉委員会報告（市民意見募集）
平成25年 3月14日	市民意見募集の開始
平成25年 4月13日	市民意見募集の締切
平成25年 4月24日	基本方針の策定
平成25年 5月28日	保養研修センターを廃止するための関係条例案の可決
平成25年 7月22日	第1回跡地活用委員会（募集要項（案）の審査等）
平成25年 8月28日	募集要項の配布開始

(参考2) 今後の予定

平成25年 9月27日	応募締切
平成25年10月（上旬）	第2回跡地活用委員会（第一段階選抜：応募内容に関する検討委員会への意見聴取）
平成25年10月（中旬）	価格競争（第二段階選抜）、売却先の決定
平成25年11月	市会への付議（財産処分）
平成25年12月（下旬）	売買契約の締結